

# いしかわ歴史資料ワーク

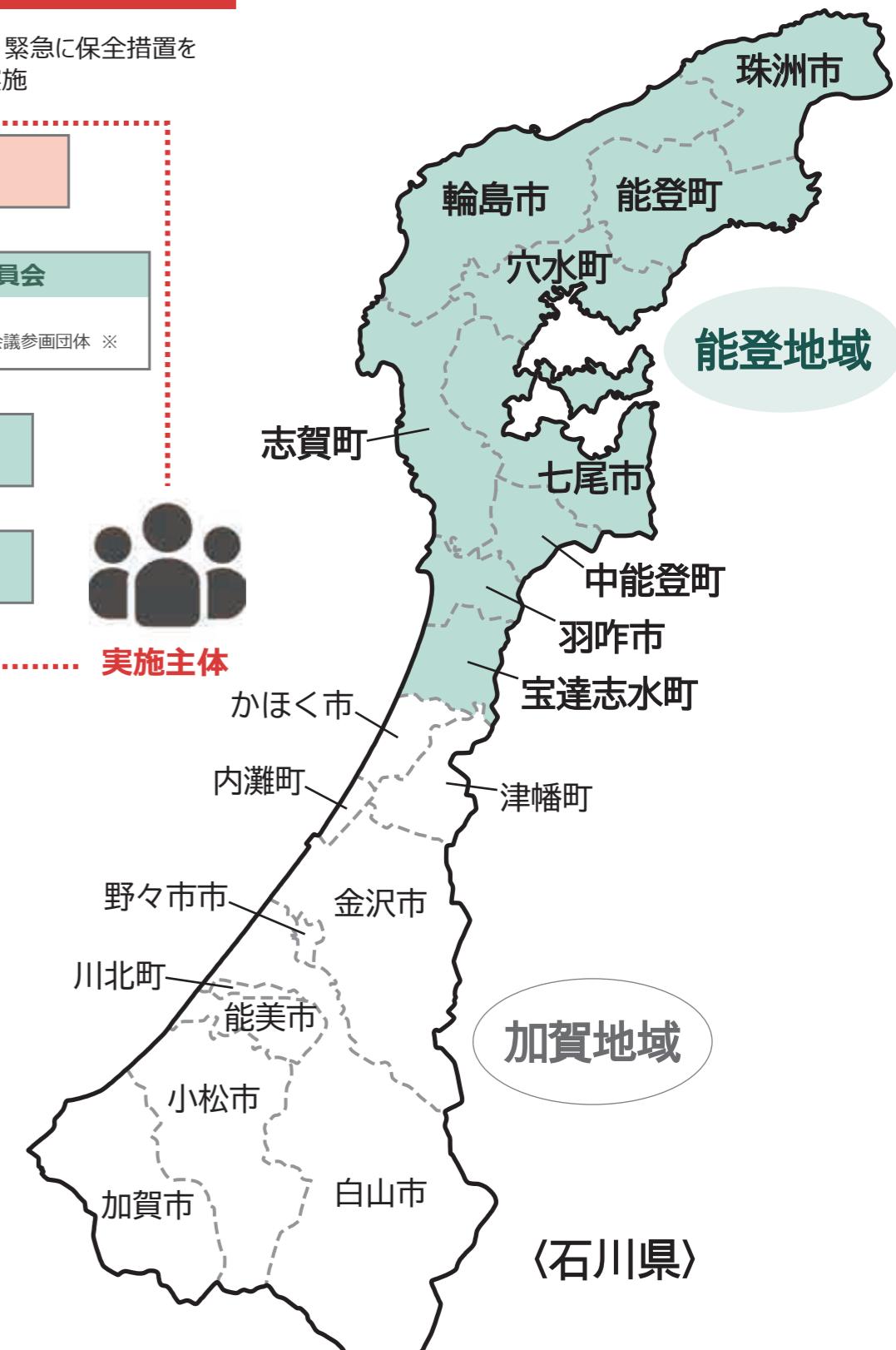
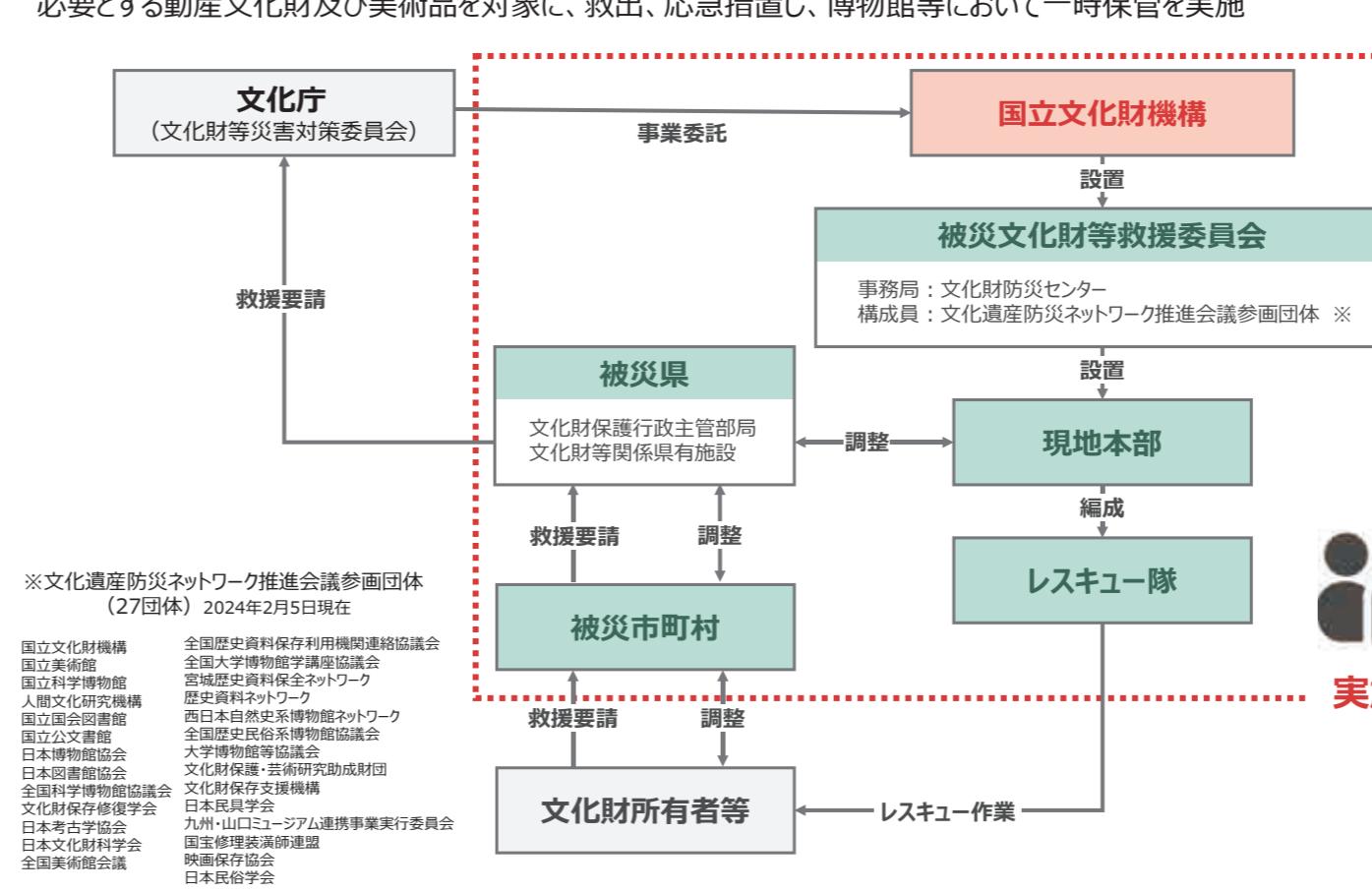
# 能登半島地震・豪雨と いしかわ史料ネット



いしかわ歴史資料保全ネットワーク（略称：いしかわ史料ネット）は、2024年1月1日に発生した能登半島地震を受け、同年3月1日に大学教員・市町文化財担当者・県内博物館／資料館学芸員を中心に設立しました。金沢大学に事務局を置き、現在、正会員・サポート会員合

能登半島地震・豪雨の被災資料レスキューは、国立文化財機構文化財防災センターが中心となって行われていることが、これまでのレスキューと異なるところです。文化財レスキュー事業の枠組みの中で、各市町の文化財担当者と連携しつつ、センターのレスキュー活動に協力してきました。

また、歴史資料ネットワーク・国立歴史民俗博物館と県内の博物館／資料館を繋いで、下張りはがしワークショップを開催したり、レスキュー史料の整理作業を進めています。



# 歴史資料を救出する



# 被災史料のレスキュー

## 輪島市輪島崎町でのレスキュー

2024年6月6日、2025年7月11日～13日のレスキューの様子。膨大な輪島塗の箱。文化財防災センターによる能登各地でのレスキューに、いしかわ史料ネットから毎月数名が参加してきました。

被災資料は、石川県が確保した一時保管場所に保管されています。なお、2025年8月以降、レスキューのとりまとめは石川県文化財課が担当しています。

# 活動を広める



## 文化財レフキュー・ポスター写真展

2025年2月10日～3月31日にかけて、能登地域各地で文化財レスキュー活動を紹介するポスター写真展を開催しました。能登文化財保護連絡協議会および能登9市町の協力を得て、いしかわ史料ネットが企画したものです。公民館や生涯学習センターなど、地域の皆さまが集まる場所にポスターを設置し、文化財の保護・継承について思いを寄せていただける機会になりました。



1

# 能美ふるさとミュージアム 「の」ふるさと館

2025年1月19日～4月27日（好評につき約1か月間 期間を延長して開催）に能美市の能美ふるさとミュージアムで開催された「企画展 救出された郷土資料～文化財を未来へつなぐために～」に協力しました。能登地域のみならず、加賀地域でもレスキュー展が開催されることで、文化財レスキュー事業や歴史資料の保全について、多くの市民に知っていただく機会になりました。



↑ 展示室入口の様子  
粗鑿無料で開催されまし

石川県立歴史博物館  
でのレクチャー展

2025年7月26日～8月31日に石川県立歴史博物館で開催された「夏季特別展 未来へつなぐ—能登半島地震とレスキュー文化財—」に協力しました。地震発生以来、全館あげて積極的にレスキュー活動をされている同館で、1年半の活動が紹介されました。同館では、被災した文化財とともに、避難所の資料などもレスキューしています。特別展では、レスキューの現場に立った学芸員の率直な心情も紹介され、大きな話題を呼びました。



## ↑ ワークショップ等での 作業で現れた下張り文書 がそのままの状態で展示 されました



## 地域住民の手によって作られた 避難所の掲示・貼紙



# ① 県立歴史博物館との連携によって救出された珠洲市D家文書から発見された絵図 明治～昭和初期の定置網漁の様子を伝えています